

全国植樹祭における環境への配慮について

先催県および鳥取県

1 先催県での環境配慮事例

- ・ 県産材の積極利用
 - ・ 間伐材によるお野立所
 - ・ 木製ベンチ
 - ・ ラティス（木製の格子状フェンス）
 - ・ プランターカバー
 - ・ ウッドチップ
- ・ 物品購入時における配慮
 - ・ 記念誌や印刷物等に間伐材を利用した用紙を使用
- ・ 運営関係での配慮
 - ・ 参加者、スタッフの輸送バスの集中運行
 - ・ 職員の移動にハイブリット車を利用

2 鳥取県における環境への配慮（案）

- ・ 県産材の積極利用等に加え、大会で排出されるCO₂のオフセットを検討
- ・ 地球温暖化防止に配慮したイベントとし、できる限りCO₂排出を抑制

カーボン・オフセットの実施（削減できないCO₂を埋め合わせる。）

（1）埋め合わせるCO₂

- ・ メイン会場で排出されるCO₂（電気）
- ・ 移動用バス等が排出するCO₂

（2）埋め合わせる方法

- ・ 来場者や企業等から募金を集め、オフセットクレジットを購入し森林整備を支援（募金者には、記念品（証明付き間伐材製品等）を贈呈）

【具体策】

- ・ 募金でオフセットクレジット（県内分J-VER）を購入

その他

- ・ 植樹祭で排出、埋め合わせたCO₂については、ホームページ等で情報提供
- ・ 平成22年度以降の県植樹祭等において試行的にカーボン・オフセットを実施